

1985・5

第 12 号

しろこぼと

日本野鳥の会埼玉県支部



第 1 回 総 会 の お 知 ら せ

第 1 回総会を次の通り開催します。

日時・昭和 60 年 6 月 9 日 (日)

午後 1 時受付開始

午後 1 時 30 分～3 時 30 分総会

午後 3 時 30 分～4 時 30 分スライド大会

午後 5 時～懇親会

場所・埼玉県熊谷福祉センター

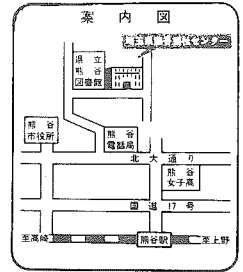
熊谷市箱田 5 丁目 6 番 2 号

電話 0485(21)5421 (代)

議題・昭和 59 年度事業報告および決算について、昭和 60 年度事業計画および予算について、役員の出選について、その他、原則として 5 月に開くべき総会が、5 月行事多忙のため 6 月となってしまいました。

支部のあり方、今後進んで行く方向などについて、直接意見を述べる良い機会です。

既に事務局などに寄せられたご意見によって、探鳥会開催地をより広げて多様化を図る事、調査研究体制の充実を図る事、支部機構を整備する事などの問題が提起されています。会員の総意による支部を目指して、1 人でも多くの会員にご参加いただきたいと思います。会員証を胸につけて、ぜひあなたもおでかけください。



駅から車で約 5 分、歩いて約 20 分

第 1 回 初 級 リーダー研修会開催

3 月 31 日 (日) 午前 10 時から、浦和市立コミュニティセンターにおいて、第 1 回初級リーダー研修会が開催された。「より良い探鳥会をめざして」とのメインテーマのもと、



真険な目付で

午前中は本部指導部の藤本和典主任によって、日本野鳥の会の理念、探鳥会の意義、リーダーの役割などについて 2 時間の講義、午後は、探鳥会の実際や安全対策などについて約 3 時間のディスカッション。ハードなスケジュールを、全員意欲的にこなした。

参加者は次の通り。

講師・藤本和典 挨拶・今井昌彦支部長
受講者 (50 音順)・新井清子 飯野辰男
石川敏男 榎本秀和 海老原教子 海老原美夫
小淵健二 草間和子 楠見邦博 楠見文子
小荷田行男 酒井邦子 中島康夫 西城戸司
場谷内純一 場谷内ルミ子 福井恒人 村上トシエ 森本国夫 山部直喜 (20名)

ゴ イ サ ギ (サ ギ 科)

熊谷市別府沼付近をぶらぶらしていたら、宮本武蔵の枯木鳴鶉(げき=モズ)図を思わせるゴイサギのポーズに出くわした。思わずもどかしくシャッターを切る。しばらくして彼は気づいたのか、チエッセっかく獲物をねらっていたのと言わんばかりに、悠々と飛

び去った。

ゴイサギは 1 年中全国的に見られる。夜行性で、夜空を飛びながらクワックワッと鳴くので、夜ガラスとも言われ、幼鳥は褐色の地に白斑があり、星ゴイとも言われる。

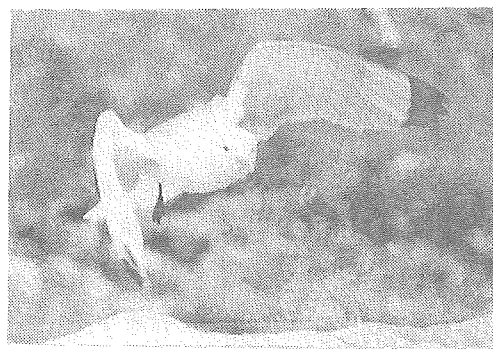
(表紙の写真と文・鈴木忠雄)

秩父にミツユビカモメが出現

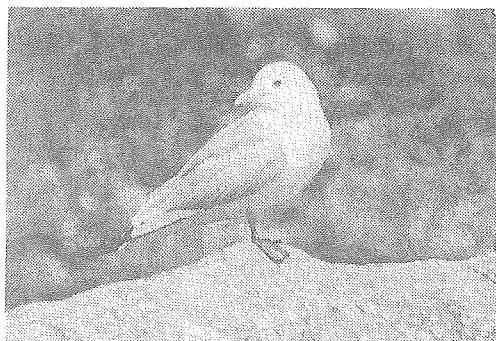
本紙2月号でもお知らせした珍鳥ミツユビカモメが、今度は秩父地方に出現した。

3月24日午前9時ごろ、秩父郡吉田町下吉田の赤平川にカモメらしい鳥が1羽いるのを、秩父愛鳥会(宮崎章次会長)の会員、丸山政弘さん(31才)が見つかり、写真撮影した。連絡を受けた県支部と本部の研究部において調査したところ、下にそりぎみの黄色のくちばし、黒い足、翼の先の模様などから、ミツユビカモメである事が明らかとなった。

本紙2月号の写真に見られるような頭部の模様はまったくなく、白い。これは夏羽の為であるが、夏羽の特徴である目のまわりの赤色は出ていない。したがって、まだ完全な夏羽ではないが、ほとんど夏羽の個体であると見えよう。



翼先に注意



ミツユビカモメの特徴がよくわかる

県内における観察は2回目であるが、外洋性の鳥が、最も近い海岸から直線にして80kmもある山間の盆地の河川に現われた訳で、極めてめずらしい。その前日である23日の風は、熊谷地方で平均毎秒21m、前々日である22日は、2.3mの風。従って(上空の風は不明だが)強風にあおられて迷いこんだものとは言えない。又、その付近はユリカモメも見かけないところ、従って、ユリカモメについて迷いこんだ訳でもない。今のところ、理由はわからないとしか言いようがない。

ミツユビカモメは竹やぶと崖にかこまれた赤平川の上を飛びまわり、時には岩の上でひと休みしたりしていたが、午後1時ごろには飛び去ったという。

ガン・カモ類一斉調査/全国の報告

1月15日の全国一斉ガン・カモ類調査につき、3月号の県内の報告に続き、今回は全国の報告。合計90万9,240羽、34種を数えた。

参加者・1,440名 参加支部団体・60

鳥種別集計

多かったのは、マガモ25万6,396、カルガモ13万2,728、コガモ10万8,842など。

少なかったのは、カリガネ1、アカツクシガモ1、オオホシハジロ3、アカハジロ3など。

支部団体別集計

種類数が多かったのは、宮城県28種、茨城県23種、新潟県23種(埼玉県16種は、全国で22番目)

個体数が多かったのは、茨城県7万2,965、宮城県5万1,228、福岡4万6,993(埼玉県2万9,452は、全国で13番目)

40th WATERFOWL COUNT
1985



WILD BIRD SOCIETY OF JAPAN

みんなの手で県内野鳥分布調査を

私たちが住んでいる郷土埼玉は県南部の市街地、工場地区から県北部の田園地帯、そして県西部の2000mを越える山岳地帯と様々の環境があり、近年都市化の波が県南部から県中部へと打ち寄せ今激しく変わっています。その中で、キジバト、ヒヨドリ市の市街地への進出をはじめとして、鳥の暮しも変わってきているようです。自然が大きく改変されつつある今、埼玉に生息する野鳥の分布を夏と冬に調査し、変わりゆく埼玉の自然を明らかにするのが、今年から始まる県内野鳥分布調査の目的です。

春の渡りの季節がほぼ終る5月10日から7月10日までの2ヶ月を夏鳥調査、秋の渡りがほぼ終る12月1日から1月31日までを越冬種を始めとする冬鳥調査の期間とします。夏鳥調査、冬鳥調査とも、どこに、どのような種が、いつ、どれだけいるかを明らかにする事が、この県内分布調査です。鳥の生活の中で大きな比重を占めるのは、繁殖、渡り、越冬です。夏鳥調査は本来、繁殖種を明らかにできれば理想的ですが、繁殖確認を行なうためには、専門的知識と長時間の観察が必要であり、大変むずかしいものとなります。そこで夏鳥の有無をチェックする事によって繁殖の可能性を探ろうとするものです。一方、冬鳥調査は県内での越冬のありさまを明らかにしようとするものです。

調査方法は①、②の二通りを取ります。

① 支部報に同封されるはがき(料金受取人払)で回答をいただく。

② 緑の国勢調査で使用した1Km×1Kmのメッシュ地形図と自然環境保全基礎調査動植物分布調査票(鳥類)=冬鳥調査に使用したピンクカード=で回答をいただく。

①は確認した鳥種名とそのおおよその数、そして調査地点を示す住所又は主な目標物をお教えいただくものです。②は去年12月からことしの1月まで行なわれた冬鳥分布調査と

全く同じ方法で、メッシュ地形図によって調査地点のメッシュコードを決め、確認した鳥種についてピンクカードに1メッシュ1枚ずつ記入していただくものです。②については、支部研究部にて調査方法など説明したマニュアルを作成いたしましたので、ご希望の方は支部事務局までご連絡下さい。

①、②のいずれも、会員の方々が確認した種、例えばスズメとハシブトガラスだけでもかまいません。あなたのお住いになっているところ、毎日の通勤、通学路、職場や学校、グループや個人での探鳥地など、調査地点は県内であればどこでもかまいません。また調査期間中の1日でも、何日かのデータでも、全期間のデータでも日数は問いません。

会員の方々からお寄せいただいたデータは県支部研究部で集計、整理のあと支部報で発表する予定です。また特に生息地を公表してもらいたくない場合は、その趣旨のコメントを付けてお送り下さい。

年2回の調査でその時々注目種を設定します。これは県内の鳥類生息環境を調べる手掛かりにするものです。今回はオオヨシキリとそれに托卵するカッコウを注目種としました。

県内の野鳥分布調査についてご意見などございましたら、支部事務局までご連絡下さい。また、お手伝いいただける方がいらっしゃいましたら、支部事務局までご一報下さい。よろしくお願い致します。



オオヨシキリ



ウグイスさえずり ◇2月16日、蓮田市黒浜で。(中島康夫) ◇2月28日正午、秩父市上町で。(豊田隆) ◇3月17日午後零時半、桶川市川田谷の荒川河川敷で。(長野博行)

ベニヒワ ◇2月20日正午、秩父市美の山公園で♂1羽。(豊田 隆)

カヤクグリ ◇2月20日正午、秩父市美の山公園で3羽。(豊田 隆)

ベニマシコ ◇3月3日午後零時半、秩父市山田で♂♀各1羽。(今井明巨) ◇3月31日午後零時半、桶川市の荒川河川敷で♂1羽♀2羽。(長野博行)

ハマシギ ◇3月10日午後2時半、本庄市阪東大橋下流で83羽。(探鳥会居残り組12名)

カワアイサ ◇3月10日午後2時半、本庄市阪東大橋下流で♂2羽♀6羽。(探鳥会居残り組12名)

ヤマガラ ◇3月12日午後4時半、熊谷市の東芝工場付近で1羽。(今井明巨)

ミヤマホオジロ ◇3月17日午後1時半、秩父郡横瀬町で♂♀各2羽。(豊田 隆)

イカル ◇3月17日午後2時半、秩父市羊山公園で1羽。(今井明巨) ◇3月30日、浦和市の秋ヶ瀬公園ピクニックの森で1羽。

(森本国夫)

ミコアイサ ◇3月18日狭山市の入間川で1羽。(多田 孝)

ハジロカイツブリ ◇3月18日、狭山市の入間川で2羽。(多田 孝)

コミミズク ◇3月19日午後2時、桶川市川田谷の荒川河川敷で1羽。(長野博行)

ミツユビカモメ ◇3月24日午前10時、秩父郡吉田町の赤平川で1羽。(丸山政弘)

ツバメ ◇3月24日、秩父市影森で1羽。(高野 登) ◇3月25日午後零時半、桶川市川田谷の白山公園で1羽。(長野博行) ◇3月30日、浦和市西堀付近で1羽。(海老原教子)

ホオジロハクセキレイ ◇3月25日午後零時半、深谷市幡羅地区の福川で1羽。(飯野辰男)

アカウソ ◇3月29日午前11時半、寄居町鉢形城跡で♂5羽。(石井生高)

ヒレンジャク ◇3月29日午後3時半、浦和市の秋ヶ瀬公園で4羽。(福井 亘) ◇4月1日、浦和市の秋ヶ瀬公園ピクニックの森で8羽。(山部直喜)

キレンジャク ◇4月1日、浦和市の秋ヶ瀬公園ピクニックの森で2羽。(山部直喜)

アリスイ ◇4月4日、蓮田市黒浜沼そばで1羽。(中島康夫、郁夫)

ウソ ◇4月5日、狭山市入間川の自宅の庭で♂1羽。(多田 孝)



(会費切換え時のミニアンケートから)

入会した目的は、情報や行事のことを知りたいからです。勤め先の休みが日曜・祭日ではないので、探鳥会には出席できません。たまにはウィークデーにやってもらえたらいいのですけど。無理とは思いますが。

押田 久子(川口市)

主なフィールドは所沢、狭山あたりです。入会した目的は、情報や仲間が欲しいこともあるが自然保護の一助としての目的もあります。

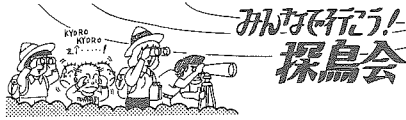
武藤 健二(所沢市)

鳥を見ることは生きがいになっています。フィールドは古利根川です。支部報で、かすみ網のことを取り上げて欲しい。

野沢 政治(春日部市)

支部報に、会員達の入会の動機とか、鳥を見てとか、鳥のどこが良いか悪いか、と言う個人の声を取り上げて欲しい。

加藤 義春(大宮市)



野鳥や自然の好きな方、どなたでも歓迎。
受付は探鳥会当日です。予約申込みは必要

ありません。

筆記用具、雨具、昼食、ゴミ袋、もしあれば双眼鏡（なくても大丈夫）などをご用意ください。小雨決行です。

参加費は、一般＝100円、会員と中学生以下＝50円

5月3日(休) 寄居町 鐘撞堂山

午前9時寄居駅北口集合(大宮7:25始発)→熊谷8:09着→秩父鉄道乗換8:28発→寄居8:56着/東武東上線志木7:38発→川越7:50発→森林公園乗換→寄居8:45着/八高線東飯能7:37発→寄居8:38着)午後2時頃解散。全長約9kmのハイキングコースを歩きながら、いずれも美声のイカル、オオルリ、コルリをさがす。(担当・田村照治、石井生高)

5月12日(日) 所沢市 北部地区

午前9時30分西武新宿線新所沢駅西口集合(武蔵野線南浦和8:36発→新秋津8:59着→徒歩約10分西武池袋線秋津駅乗換9:18発→所沢9:21着→西武新宿線乗換9:25発→新所沢9:28着/川越線大宮8:15発→川越8:43着→徒歩約15分またはバスで西武新宿線本川越駅乗換9:11発→新所沢9:29着)パネル展の最終日に、雑木林でのんびり探鳥会。ホオジロ、コゲラ、シジュウカラなど。(担当・海老原美夫)

5月19日(日) 浦和市 三室地区(浦和市立郷土博物館共催) 参加費無料

午前8時15分北浦和駅東口(熊谷7:19発→大宮8:02→京浜東北線乗換)または午前9時市立郷土博物館前集合。午後1時頃解散。胸を張ってホオジロが鳴く。サンバは飛ぶかな。(担当・楠見邦博)

5月19日(日) 秩父 三峯山 (秩父愛鳥会共催) 午前10時秩父鉄道三峯口駅集合(大宮7:25始発→熊谷8:09着→秩父鉄道乗換熊谷8:28発→寄居8:57発→三峯口10:04着/西武池袋線所沢8:01発→西武秩父9:19着→秩父鉄道乗換御花畑9:42発)駅から三峯山頂までバスとロープウェイのかわりにマイクロバスを利用しますので、その料金として1,000円(参加費も含む、

中学生以下は500円)をご用意ください。ツドリ、キビタキ、ブッポウソウなどもりたくさん。午後2時ごろ解散。(担当・鈴木忠雄、堀越照雄、今井明巨)

5月25日(土)～26日(日) 奥日光ツアー
日本野鳥の会(本部)主催。埼玉県支部協力。5月25日午前9時20分東武浅草駅集合、5月26日午後6時40分同駅解散。宿泊・光徳温泉白樺荘。費用16,000円。定員120人。キビタキ、ノビタキ、ミンサザイ、オオルリなど。問い合わせと申し込みは、本部(03-406-7141)指導部奥日光係りまで。(担当・中島康夫、海老原美夫ほか)

6月16日(日) 浦和市 三室地区 (浦和市立郷土博物館共催) 参加費無料

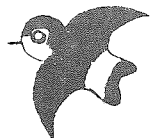
午前8時15分北浦和駅東口または午前9時郷土博物館前集合。午後1時ごろ解散。巣立ちの季節、ツバメ、ヒヨドリ、ハクセキレイなどの親子が見えるか。(担当・楠見邦博)

6月23日(日) 越谷市 増林地区

午前9時30分東武鉄道北越谷駅東口集合(南浦和8:56発→南越谷9:08着→東武鉄道乗換新越谷9:21発→北越谷9:26着/北千住8:51発→北越谷9:26着/春日部8:59発→北越谷9:19着)午後1時ごろ解散。県支部のシンボルバード、シラコバトを見る。県東部で初の探鳥会。雨がふらないように祈ってください。(担当・山部直喜、海老原美夫)

6月24日(月) 大井野鳥公園

午前9時品川駅港南口改札前集合(集合場所が変わりました)バスで大井野鳥公園へ。午後1時頃解散。コアジサシ、ヨシゴイ、オオヨシキリなど。(担当・佐々木勉)





3月17日(日) 浦和市 三室地区

△ 37人 天気 曇時々小雨 鳥 コサギ カルガモ コガモ オナガガモ コジュケイ ハマシギ クサシギ タカブシギ イソシギ タシギ シラコバト キジバト ヒバリ キセキレイ ハクセキレイ セグロセキレイ タヒバリ ヒヨドリ モズ ジョウビタキ ツグミ シジュウカラ ホオジロ アオジ カワラヒワ スズメ ムクドリ カケス オナガ ハシボソガラス ハシブトガラス(31種)「春をさがそう」というテーマで探鳥。大きくふくらんだ木の芽やペアで飛ぶカルガモなどに春を見た。

3月24日(日) 熊谷市 大麻生

△ 36人 天気 晴 鳥 コサギ カルガモ コガモ コジュケイ イカルチドリ イソシギ キジバト カワセミ アオゲラ ヒバリ キセキレイ ハクセキレイ セグロセキレイ タヒバリ ヒヨドリ モズ ジョウビタキ ツグミ ウグイス シジュウカラ メジロ ホオジロ カシラダカ アオジ アトリ カワラヒワ シメ スズメ ムクドリ カケス オナガ ハシボソガラス ハシブトガラス(33種)群馬県支部の方々、新幹

線で駆けつけてくれた東京支部の方々に、冬鳥が別れを告げに現われた。カワセミの連続出現記録更新中!!

3月31日(日) 長瀨町 宝登山

△ 33人 天気 曇 鳥 コジュケイ キジバト アオゲラ コゲラ キセキレイ ヒヨドリ ツグミ ウグイス エナガ ヒガラ シジュウカラ メジロ ホオジロ カシラダカ カワラヒワ イカル シメ スズメ ムクドリ カケス ハシボソガラス ハシブトガラス (22種)秩父愛鳥会の皆さんと楽しくおしゃべりしながら頂上まで。ありがとうございました。

4月7日(日) 寄居町 鉢形城跡と荒川

△ 31人 天気 曇 鳥 コサギ コジュケイ イカルチドリ イソシギ キジバト アマツバメ カワセミ アオゲラ コゲラ ツバメ キセキレイ セグロセキレイ ヒヨドリ ツグミ ウグイス エナガ シジュウカラ メジロ ホオジロ アトリ カワラヒワ シメ スズメ ムクドリ オナガ ハシボソガラス ハシブトガラス(28種)荒川をのぞいたらヤマセミとカワセミが最初に現われるというすばらしさ。また、シメとアトリは夏羽のきれいな姿を見せてくれた。

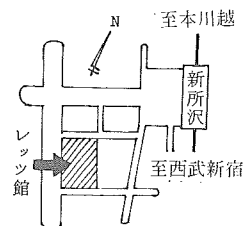


バードウォッチング「この鳥は何かな」展のご案内

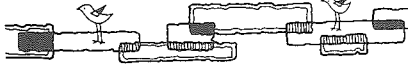
初のパネル展は、題して「バードウォッチング「この鳥は何かな」展」パネル展と言えば野鳥の名前など解説をつけるのが常識。ところが今回は、何枚かのパネルには解説をつけず、貸出し用の図鑑と見くらべて、鳥の名などを調べてもらおうという、まさに室内バードウォッチング。そのほか、県内の珍鳥7種の写真パネルを展示する「珍鳥コーナー」などもあります。ご家族でおいでください。

日時・5月6日～12日
午前10時～午後8時(最終日は午後3時まで)

場所・新所沢駅西口
新所沢パルコレック
タ- コミュニティ
- サロン



連絡帳



会費をお送りください

今月会費切換えの方と、今まで会費未納の方全員に振替用紙を同封しました。あなたが会費を継続してくださる事が、自然保護を進める1歩となるのです。よろしく願います。

振替用紙通信欄のミニアンケートは、支部運営などの重要な資料とさせていただきますので、これへのご記入も合わせてお願いします。(尚、郵便振替の場合、事務簡素化のため領収証を発行しませんので、ご了承ください) 年会費は次の通りです。

正会員 2,000円 家族会員 1,000円
ジュニア会員 1,000円 賛助会員 10,000円

関東ブロック会議開催

3月17日午後2時から、上野不忍池近くの旅館に、関東9支部の代表者19名と本部職員4名が集まり、関東ブロック会議が開かれました。県支部からは石井生高、石川敏男、海老原美夫の3名が出席、今後年に2~3回くらいずつ開催して、各支部の問題点などについて話し合う情報交換の場とする事、ブロック事務局は当分の間本部が引受ける事などが決まりました。

会員数 500 名を突破

創立1年を待たずに会員数が500名を超えました。4月20日現在の会員数は507名です。500人目の会員は大宮市の岩井明好さん。例によって記念品をお贈りしました。

題字「しらこぼと」：日本野鳥の会会長・山下静一

入会案内パンフレットができました

ようやく入会案内パンフレットができました。表紙には本紙4月号と同じ鷹尾正済さんのシジュウカラの絵を配して、「あなたにも知ってもらいたい、素晴らしい野鳥たちとの出会いと、自然の広がり」を」とよびかけています。ご希望の方は、お申し出ください。



埼玉県野鳥生態写真コンクール募集中

埼玉県(自然保護課)では、毎年恒例の野鳥生態写真コンクールの作品募集中です。規格・白黒写真は4つ切り、カラー写真は6つ切り(裏に撮影データなどを明記した票を貼ること)

締切日・昭和60年6月29日(土)

送付先・〒336 浦和市高砂3-15-1

埼玉県環境部自然保護課

著作権・主催者に帰属する。

くわしくは、0488(24)2111内線2424まで。

スライドを見せてください

総会後のスライド大会、あなたの自慢のスライドを見せてください。当日持込みも歓迎ですが、整理の都合上、事前に事務局までお電話ください。

間違えて高く売っちゃいました

4月7日寄居の探鳥会でフィールドノートの替ノートを買われた方、200円のところが、400円いただいてしまいました。ごめんなさい。ご連絡ください。

| | | |
|---------|---|------------------|
| 『しらこぼと』 | 1985年5月号(第12号) | 頒価100円(会費に含まれます) |
| | 発行人 今井昌彦 | 発行所 日本野鳥の会埼玉県支部 |
| 発行所事務局 | 〒336 埼玉県浦和市岸町4丁目26番8号ブリムローズ岸町107号 | |
| | 電話0488(32)4062 | |
| | 郵便振替 東京9-121130 銀行振込口座 埼玉銀行浦和支店普通預金316990 | |
| 印刷所 | 埼玉印刷株式会社 | |

(無断転載を禁じます)